

新約聖書の中の祈り⑦

熊本聖書フォーラム

2020年9月13日

出典：MBS147 “Prayer in New Testament History” Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

「新約聖書の中の祈り」のアウトライン

1. イエスの祈り（22の事例）
2. 福音書における他の祈り
3. 使徒の働きにおける祈り
4. 書簡における祈り

本日は、イエスの祈り 22の事例の中の17番目

17番 大祭司としての祈り P.3

1. メシアの役割 預言者・**大祭司**・王
最後の過越の食事を終えて、大祭司へ
2. 聖書箇所 ヨハネ17：1～26
3. イエスの祈り、22の事例の中で最長
4. とてもよく構成された祈り 3つの区分

祈りの構成 3つの区分 P.3

- A) イエス自身のため (1～8節)
- B) 特に11人の使徒たちのため (9～19節)
- C) すべての信者たちのため (20～26節)

本日は、AとBを振り返り、

C) すべての信者たちのための祈り

A) イエス自身のための祈り

P.3

ヨハネ17：1～8

- 祈る先： 父なる神
- 祈りの内容：願い求めが二つ
 1. 父から与えられた使命を完遂しますように
 2. 再び神の栄光に輝きますように

①使命を完遂しますように

P.3

ヨハネ17：1～4

「時が来ました。子の栄光を現わしてください」

【十字架の時、そして復活の時】

- **イエスの使命**：父からいただいたすべての者【信者】に永遠のいのちを与える
- 永遠のいのち： 父なる神を知ること、そして父なる神が遣わされたイエス・キリストを知ること

②再び神の栄光に輝きますように P.4

ヨハネ17：5～8

- 5節「わたしを**栄光**で輝かせてください」
「世界が存在する前に持っていた**あの栄光**で」
- 6～8節 その理由
父なる神について、弟子たちに**明らかにした**
父なる神、子なる神、みことば との関係
弟子たちは、受け取った→知った→信じた

B)特に11人の使徒たちのための祈り P.5

ヨハネ17：9～19

9節 「わたしは彼らのためにお願いします」

10～19節 願い求めが三つ

1. 彼らが保たれますように
2. 彼らが守られますように
3. 彼らが聖別されますように

①彼らが保たれますように P. 5

ヨハネ17：11

「あなたの御名の中に、彼らを保ってください」

- 保つ = 保護するために見守る

「あなたがわたしに下さっている あなたの御名」

イザヤ9：6～7、黙19：11～16

5つの理由（9～14節） P. 5 ～ 6

1. 使徒たちは、父なる神のものであり、
父なる神がイエスに与えたものである（9～10）
2. イエスはこの世を去るが、彼らは残る（11）
3. イエスはこの世にいる間、彼らを守った（12）
4. 彼らが喜びに満たされるため（13）
5. 使徒たちは、この世から憎まれる（14）

②彼らが守られますように P. 6

ヨハネ17：15～16

- 願い求め：「彼らを、**悪い者から＝サタンから**、守ってくださるようお願いします」
- その理由：彼らはこの世に残るから

③彼らが聖別されますように P. 6

ヨハネ17：17～19

- 願い求め：「彼らを聖め別ってください」
聖別する＝この世から別に取り分ける
「真理によって」＝神のことばによって
- その理由：彼らは世に遣わされるから（18節）

イエスが自分自身を聖め別つこと P.6

ヨハネ17：19

「わたしは、彼らのため、わたし自身を聖め別ちます」

- イエスが自分自身を聖別するとは：ヨハネ15：10
「わたしがわたしの**父の戒めを守って、**
わたしの**父の愛の中にとどまっている**」
- その目的：「彼ら自身も真理によって聖め別たれるため」
使徒たちも、神のことばによって、自分自身を
この世とは別に取り分けられるようにする

自分自身を聖別することについて P.7

1. イエスがご自身を聖別するとき、イエスはどこにおられるのか？ ……ヨハネ15：10「父の愛の中」
2. 11人の使徒たちは、父なる神によってこの世から別に取り分けられ、そして同時に神のことばによって、自分自身をこの世から取り分ける。では、そのとき、使徒たちはどこにいるのか？ ……15：3～4「イエスにとどまる」、9～10「イエスの愛の中」
3. 使徒たちがこの世から取り分けられると、彼らはどうなるのか？ ……15：7～8「実を結ぶ→父が栄光を受ける」

C)すべての信者たちのための祈り P.8

ヨハネ17：20～26

20～24節 願い求めが二つ

1. 信者の一致
2. 信者の栄化

25～26節 祈りの結び 自分が何をするか

① 信者の一致 P.8

20～21節a (原文の語順にそって直訳)

- **ただこの人々【使徒たち】のためだけでなく**
- わたしは**お願いします**
- **彼ら【使徒たち】**のことばによって
わたしを信じる人々のためにも
- **彼ら【すべての信者】がみな一つとなることを**

- 父よ
- あなたがわたしにおられ、わたしがあなたに
るように
- 彼らもわたしたちにあって一つとなることを

信者の一致を願い求める理由 P.9

ヨハネ17：21 b

「あなたがわたしを遣わされたことを
世が信じるためです」

- 信者の一致 → 世の人々が福音を信じる

福音宣教は栄光ある使命

P.9

ヨハネ17：22a

「あなたが与えてくださった**栄光**を
彼ら【すべての信者】に与えました」

- 栄光とは：イエスが父なる神から受けた使命（3～4）
父なる神と 父が遣わされたイエス・キリストを
知らせること（永遠のいのちはここに、福音宣教）
- 22節b 使命遂行の中に、信者の一致がある

一致の基盤はイエスの内住

P.9

ヨハネ17：23a

「わたしは彼らにおり、あなたはわたしにおられます。それは彼らが全うされて一つとなるため」

- 「わたしは彼らにおり」 = イエスの内住
- 「あなたはわたしにおられる」

イエスの内住により、同時に父なる神の中に

信者の一致を願い求める理由（再） P.10

ヨハネ17：23b

「**あなたがわたしを遣わされたことと、**
 あなたがわたしを愛されたように
彼らをも愛されたことを、
この世が知るためです。」

② 信者の栄化

P.11

- 24節（原文の語順にそって直訳）
- 父よ。お願いします。あなたがわたしにくださったものを、**わたしのいる所に、わたしといっしょにおらせてください。そして、わたしの栄光を彼らが見るようにしてください。**（願い求め）
- それは、**あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたから**です。（その理由）

願い求めの内容

P.11

- 「あなたがわたしにくださったもの」・「彼ら」とは、信者たち
- 信者たちが、イエスのいる所に、イエスといっしょにいるようになる = 信者の**栄化**
- **栄化**：信者の**からだの贖い**
 1. もはや死ぬことのない体、栄光のからだ
 2. その内側には、もはや罪の性質はない

その理由

P.12

- 「それは、あなたが**わたしを世の始まる前から愛しておられたから**です」
- 信者が栄化されるのは、信者の行いや信仰深さによるのではない。神の愛のゆえである。
- 父なる神が子なる神を愛し、その愛と同じ愛をもって信者を愛してくださるゆえである (23)

祈りの結びのことば

P.12

ヨハネ17：25～26

- イエスは、「これからも」（復活・昇天のあとも）父なる神の御名を知らせ続ける
- その目的は二つ
 1. 父なる神の愛が、彼らの中にあるために
 2. イエスが、彼らの中にいるために

私たちへの適用

P.13

イエスは、今も、父の御名を知らせておられる

1. **父なる神**がどのようなお方なのかを**知る**こと
2. 父なる神が遣わされた**イエスを知る**こと
3. 父なる神が私たち信者を愛してくださっている。その**父なる神の愛の中にとどまる**こと

この3つに立つとき、信者は一致し、栄化へ進む

17番の祈りから学ぶこと

P.13

- 誰に対して祈るのか・・・父なる神
- 誰のために祈るのか・・・自分と信者たち
- 何を祈るのか・・・願い求めとその理由
- 自分がすべきことが示されたら、そのことも

次回以降のオンライン集会予定

9月19日（土）新約聖書の中の奥義③

「奥義としての王国」

9月27日（日）新約聖書の中の祈り⑧

「ゲツセマネにおける祈り」

10月10日（土）イエスのことば⑦

「人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません」（ヨハネ3：5）